



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 日本化薬株式会社  
コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 政信  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ経理本部経理部長 (氏名) 武内 直彦 (TEL) 03-6731-5842  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	76,877	△4.2	9,237	△17.3	7,626	△24.8	5,175	△21.9
28年3月期第2四半期	80,229	2.8	11,166	2.4	10,141	△19.0	6,623	△16.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △94百万円( -%) 28年3月期第2四半期 7,799百万円(△32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	29.85	29.83
28年3月期第2四半期	36.56	36.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	259,329	194,550	70.7
28年3月期	272,679	200,492	69.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 183,244百万円 28年3月期 188,919百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	12.50	—	17.50	30.00
29年3月期	—	12.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,500	△2.7	18,000	△17.1	17,000	△19.1	12,500	△27.7	72.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	182,503,570株	28年3月期	182,503,570株
29年3月期2Q	9,337,658株	28年3月期	6,857,074株
29年3月期2Q	173,416,781株	28年3月期2Q	181,188,900株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の世界経済は、米国や欧州では引き続き緩やかな回復が続いており、中国では成長のペースが緩やかに減速しました。日本経済は雇用・所得環境の改善にともない個人消費に底堅い動きがみられるなど緩やかな回復基調にあるものの、世界経済の減速懸念や円高の進行等の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは本年度よりスタートさせました中期事業計画“*Take a New Step 2016*”の重点テーマと中長期重点課題に取り組み、研究開発の強化、重点事業への経営資源の最適配分、海外事業の拡大に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンを推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、セイフティシステムズ事業が前年同四半期を上回りましたが、機能化学品事業、医薬事業が前年同四半期を下回ったことにより、768億7千7百万円と前年同四半期に比べ33億5千2百万円（4.2%）減少しました。

営業利益は、売上高の減少により、92億3千7百万円と前年同四半期に比べ19億2千9百万円（17.3%）減少しました。

経常利益は、為替差損の増加などにより76億2千6百万円となり、前年同四半期に比べ25億1千5百万円（24.8%）減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、51億7千5百万円と前年同四半期に比べ14億4千7百万円（21.9%）減少しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

**【機能化学品事業】**

売上高は312億6千9百万円と前年同四半期に比べ38億4百万円（10.8%）減少しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂及び紫外線硬化型樹脂が好調で前年同四半期を上回りました。

色素材料事業は、インクジェットプリンタ用色素、繊維用染料及び紙用染料が低調で前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒が低調で前年同四半期を下回りました。

ポラテクノグループは、染料系偏光板や無機偏光板ProFluxが低調で前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は25億1千7百万円と前年同四半期に比べ11億6百万円（30.5%）減少しました。

**【医薬事業】**

売上高は238億8千7百万円と前年同四半期に比べ9億1千3百万円（3.7%）減少しました。

国内向け製剤は、バイオ後続品の「インフリキシマブBS点滴静注用」（抗体薬）、高度管理医療機器の「ヘパスフィア」、「エンボスフィア」（血管内塞栓材）が伸長しました。一方、「パクリタキセル注NK」、「カルボプラチン点滴静注液NK」などの注射剤抗がん薬や「ビカルタミド錠NK」、「アナストロゾール錠NK」などの経口抗がん薬は薬価改定などの影響を受け、前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では、「オキサリプラチン点滴静注液」（抗がん薬）及び「ドセタキセル点滴静注」（抗がん薬）などの新製品が寄与しましたが、前年同四半期を下回りました。

輸出は、エトポシド類、ブレオ類（いずれも抗がん薬）が前年同四半期を下回りましたが、全体では前年同四半期を上回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料、醗酵品原料が前年同四半期を上回り、全体では前年同四半期を上回りました。

診断薬は、糖尿病診断薬が前年同四半期を下回り、全体では前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は27億9千6百万円と前年同四半期に比べ12億5千9百万円（31.1%）減少しました。

**【セイフティシステムズ事業】**

売上高は180億9千2百万円と前年同四半期に比べ10億7千3百万円（6.3%）増加しました。

国内事業は堅調に推移し、エアバッグ用インフレーターは前年同四半期を上回りましたが、シートベルトプリテンションナー用マイクロガスジェネレーターはA S E A N市場向けの生産を平成27年度から稼働を開始した海外グループ会社に移管したため、前年同四半期を下回りました。

海外事業は北米・欧州・中国市場が堅調だったことに加え、新興国での自動車安全部品への需要拡大などによりエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータ及びスクイブはそれぞれ前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は33億4千2百万円と前年同四半期に比べ4千2百万円(1.3%)増加しました。

#### 【その他】

売上高は36億2千7百万円と前年同四半期に比べ2億9千2百万円(8.8%)増加しました。

アグロ事業は、国内が前年同四半期を上回り、輸出は前年同四半期を下回りました。アグロ事業全体では前年同四半期を上回りました。

不動産事業他は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は7億2千4百万円と前年同四半期に比べ4億1千9百万円(137.5%)増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,593億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ133億4千9百万円減少しました。主な減少は有価証券51億5千4百万円、受取手形及び売掛金50億1千2百万円、有形固定資産35億1百万円であり、主な増加はその他投資8億2千8百万円(投資その他の資産に含む)であります。

負債は647億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億7百万円減少しました。主な減少は長期借入金25億8千2百万円、未払金17億2千3百万円、未払法人税等12億5千8百万円、短期借入金9億4千2百万円であり、主な増加は支払手形及び買掛金6億9千6百万円であります。

純資産は1,945億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ59億4千2百万円減少しました。主な減少は為替換算調整勘定49億2千1百万円、配当金の支払30億7千3百万円、自己株式の取得26億8千4百万円であり、主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益51億7千5百万円であります。

### ②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、152億5千5百万円の収入(前年同四半期は94億5千万円の収入)となりました。これは主に法人税等の支払額が34億7千3百万円、たな卸資産の増加額が16億6千3百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が72億9千4百万円、減価償却費が54億3千5百万円、売上債権の減少額が32億4千2百万円、為替差損益が20億3百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、88億4百万円の支出(前年同四半期は60億7千2百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が67億3千万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、96億4千6百万円の支出(前年同四半期は52億5千9百万円)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が35億4千4百万円、配当金の支払額が30億6千4百万円、自己株式の取得による支出が26億8千4百万円あったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ52億8千4百万円減少し、421億8千万円(前年同四半期は518億1千9百万円)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は米国では引き続き堅調に推移する一方、欧州では地政学的リスクの高まりにより景気の下振れが懸念されます。日本経済は雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策効果もあり緩やかに回復することが期待されるものの、世界経済の下振れの影響に留意する必要があります。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な財務体質を構築するとともに、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、平成28年5月11日に公表いたしました平成29年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,128	37,108
受取手形及び売掛金	50,529	45,516
電子記録債権	841	1,029
有価証券	10,639	5,484
商品及び製品	24,404	25,266
仕掛品	1,893	1,850
原材料及び貯蔵品	17,797	17,461
その他	7,961	7,149
貸倒引当金	△25	△24
流動資産合計	151,170	140,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,173	38,417
機械装置及び運搬具（純額）	22,169	22,577
その他（純額）	19,696	16,544
有形固定資産合計	81,040	77,538
無形固定資産		
のれん	113	555
その他	2,051	1,803
無形固定資産合計	2,164	2,358
投資その他の資産		
投資有価証券	35,093	34,651
退職給付に係る資産	1,254	1,193
その他	1,852	2,681
貸倒引当金	△33	△37
投資その他の資産合計	38,166	38,488
固定資産合計	121,372	118,385
繰延資産	136	100
資産合計	272,679	259,329

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,285	12,981
短期借入金	6,981	6,038
未払金	10,205	8,481
未払法人税等	2,687	1,429
その他	7,580	7,126
流動負債合計	39,740	36,058
固定負債		
長期借入金	12,460	9,877
環境対策引当金	3,599	3,599
退職給付に係る負債	518	499
その他	15,869	14,744
固定負債合計	32,446	28,721
負債合計	72,186	64,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,534	17,552
利益剰余金	152,219	154,321
自己株式	△7,773	△10,457
株主資本合計	176,913	176,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,647	12,248
為替換算調整勘定	1,644	△3,277
退職給付に係る調整累計額	△2,286	△2,076
その他の包括利益累計額合計	12,005	6,895
非支配株主持分	11,573	11,305
純資産合計	200,492	194,550
負債純資産合計	272,679	259,329



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	80,229	76,877
売上原価	46,754	46,089
売上総利益	33,475	30,787
販売費及び一般管理費	22,309	21,550
営業利益	11,166	9,237
営業外収益		
受取利息	27	45
受取配当金	291	356
有価証券売却益	—	5
負ののれん償却額	0	—
持分法による投資利益	192	268
その他	510	423
営業外収益合計	1,021	1,099
営業外費用		
支払利息	70	69
為替差損	1,624	2,385
その他	351	256
営業外費用合計	2,046	2,711
経常利益	10,141	7,626
特別利益		
固定資産売却益	1,047	—
関係会社株式売却益	51	—
特別利益合計	1,099	—
特別損失		
固定資産処分損	734	332
特別損失合計	734	332
税金等調整前四半期純利益	10,506	7,294
法人税、住民税及び事業税	3,401	2,037
法人税等調整額	△180	△238
法人税等合計	3,221	1,798
四半期純利益	7,284	5,495
非支配株主に帰属する四半期純利益	661	319
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,623	5,175

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	7,284	5,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	659	△397
為替換算調整勘定	△97	△5,407
退職給付に係る調整額	△48	215
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	514	△5,589
四半期包括利益	7,799	△94
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,142	65
非支配株主に係る四半期包括利益	656	△159

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,506	7,294
減価償却費	5,384	5,435
その他の引当金の増減額(△は減少)	△562	△185
受取利息及び受取配当金	△318	△401
支払利息	70	69
為替差損益(△は益)	1,443	2,003
持分法による投資損益(△は益)	△192	△268
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,047	—
有形固定資産処分損益(△は益)	734	332
関係会社株式売却損益(△は益)	△51	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,547	3,242
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,083	△1,663
前払費用の増減額(△は増加)	△287	△259
未収入金の増減額(△は増加)	445	967
前渡金の増減額(△は増加)	3,023	△155
仕入債務の増減額(△は減少)	787	1,705
未払金の増減額(△は減少)	△191	△420
未払費用の増減額(△は減少)	168	△233
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	△18
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△532	371
その他	△148	261
小計	11,706	18,074
利息及び配当金の受取額	444	556
利息の支払額	△60	△68
法人税等の支払額	△2,721	△3,473
法人税等の還付額	80	166
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,450	15,255
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△108	△257
定期預金の払戻による収入	10	107
有形固定資産の取得による支出	△7,433	△6,730
有形固定資産の売却による収入	1,288	—
無形固定資産の取得による支出	△242	△618
長期前払費用の取得による支出	△162	△80
固定資産撤去に伴う支出	△436	△196
関係会社株式の売却による収入	150	—
その他	860	△1,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,072	△8,804

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	158	151
長期借入れによる収入	10,136	—
長期借入金の返済による支出	△2,252	△3,544
建設協力金の返済による支出	△374	△374
自己株式の取得による支出	△11	△2,684
配当金の支払額	△2,259	△3,064
非支配株主への配当金の支払額	△121	△104
その他	△16	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,259	△9,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	△192	△2,088
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,445	△5,284
現金及び現金同等物の期首残高	43,374	47,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,819	42,180

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,073	24,800	17,019	76,894	3,335	80,229	—	80,229
セグメント間の内部売上 高又は振替高	96	0	—	96	68	165	△165	—
計	35,170	24,800	17,019	76,990	3,404	80,395	△165	80,229
セグメント利益	3,623	4,056	3,299	10,979	305	11,284	△118	11,166

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△118百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△129百万円、セグメント間取引消去11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,269	23,887	18,092	73,249	3,627	76,877	—	76,877
セグメント間の内部売上 高又は振替高	85	0	0	85	56	141	△141	—
計	31,354	23,887	18,092	73,334	3,683	77,018	△141	76,877
セグメント利益	2,517	2,796	3,342	8,656	724	9,380	△142	9,237

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△142百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△158百万円、セグメント間取引消去15百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。